

TOYOパートナーシップマガジン

2024 Winter

TOYO PRESS

vol.331 **新年号**



CONTENTS

社長ごあいさつ	02
展示会レポート	03
拠点紹介	06
新機種紹介	07
グルメ色	08

表紙：竹田城跡の日の出

Customers' Value Up
～お客様の価値向上をめざす～

日本からグローバル市場へ

代表取締役社長 田畑 禎章



「新たな価値創造を通じて社会に貢献し、輝けるより豊かな未来の実現に向けて、お客さまとともに歩んでまいります。」

新年あけましておめでとうございます。旧年中は、格別のご支援とご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年の世界情勢を振り返りますと、ロシアによるウクライナへの侵攻は依然として終息が見通せず、特に欧州でのエネルギー価格高騰による経済不安、中国での不動産バブル崩壊の影響による経済の鈍化が進み、米国においてはインフレによる景気後退など経済面において暗い影を落としました。

一方で、国内の経済動向は、新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類相当に移行したことにより人々の行動に制限がなくなったことで、個人消費は急速に回復し、また、インバウンド客の増加もあり、国内経済は持ち直しを見せました。しかし、急速な円安による輸入原材料や燃料、資源価格の高騰の影響による物価の上昇などにより、先行きは依然として不透明となっております。

このような環境のもと、弊社の事業においては、射出成形機とダイカストマシンともに自動車や工業部品関連で受注が減少となりましたが、国内では、年末にかけて政府の設備投資関連の補助金による後押し効果もあり、自動車関連を中心に受注が戻りつつあり、海外でも、直近アジアでの自動車関連の伸長が目立つ状況となりました。また、これまでの世界的な半導体不足が続いた影響による部材調達の長納期化は解消されつつあり、本年の前半には、生産は計画通りに戻るものと考えております。引き続き、部材確保を最優先事項とするとともに生産改革も着実に実行し、良い製品をご希望の納期でお客さまにお届けできますよう全力で取り組んでまいります。

さて、当社グループでは、グローバル生産体制の強化として、中国・常熟工場の第3期工場を建設しておりますが、昨年の2月に完成し、順調に生産を開始

いたしました。第3期工場の稼働により月平均の生産能力は150台となりました。拡大する中国のEV・医療・5G関連のお客さまに向けて、タイムリーに常熟オリジナル高スペックモデル“CSシリーズ”をお届けしてまいります。また、昨年12月には国内の本社敷地内に、サービス子会社である東洋機械エンジニアリング株式会社の新社屋ならびに部品配送センターを竣工しました。これにより国内外のお客さまにサービス部品をより早く、より正確にお届けすることが可能となりました。

製品面においては、昨年11月、幕張メッセで開催された“IPF JAPAN 2023”に10年ぶりにフルモデルチェンジした射出成形機“Si-7シリーズ”を発表しました。最新モデルはどのような成形品にも最適がかけられる性能を備えており、操作性の向上も重視し、DX先進技術も取り入れたフラッグシップとなりました。ダイカストマシンでは最新モデルの“BD-V7EXシリーズ”に加え、環境対応型の次期電動サーボダイカストマシン“Ds-EX2シリーズ”の販売拡大を進めます。これにより、市場や社会からの環境意識の高まりにお応えするべく、すべての製品が優れ、環境性を考慮した高品質で安心してご使用いただけるラインアップとなりました。TOYOグループでは、これからも環境に配慮した製品開発を通じて、サステナブルな社会の実現に貢献してまいります。

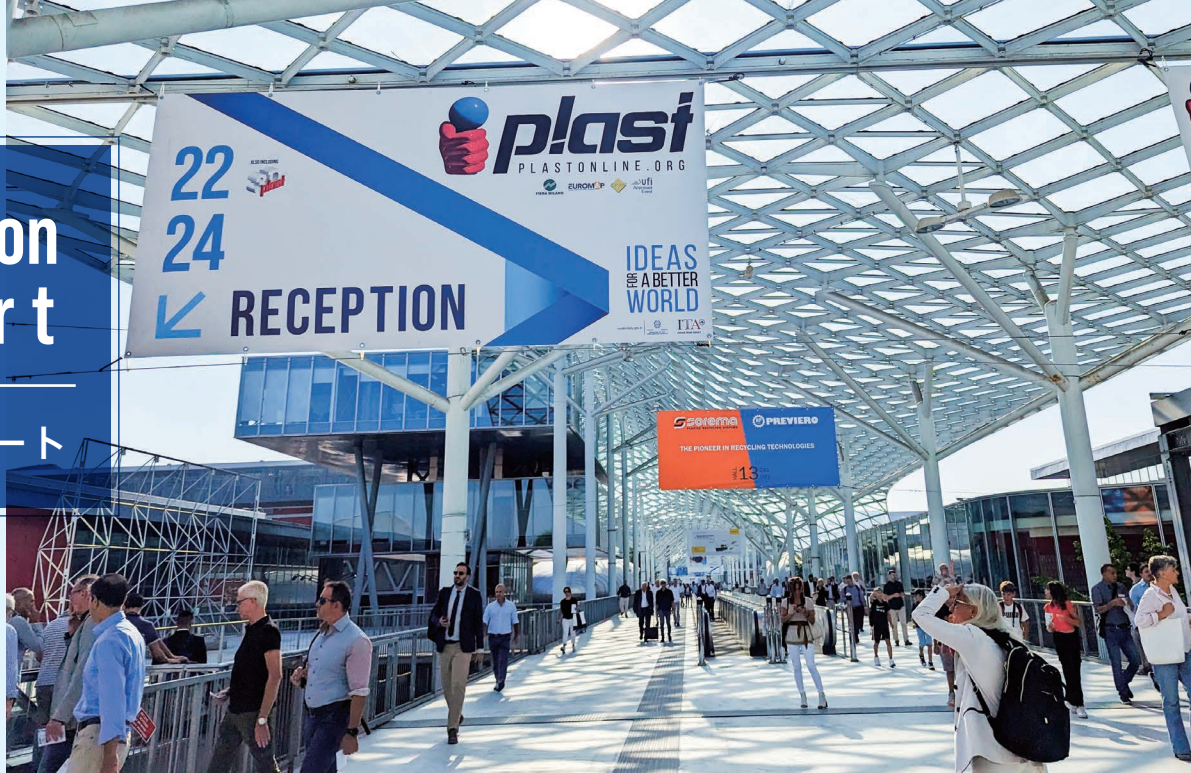
TOYOグループでは、「Customers' Value Up」を掲げ、専門メーカーとして築いた技術力でお客さまの価値向上に貢献できるよう、社員全員がより良い製品・サービスの提供に努めてまいりますので、さらなるご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

本年が、輝かしい未来につながることを心から願いますとともに、皆さまとご家族にとって、健康で幸多き年になりますことを願っております。

Exhibition Report

展示会レポート

「PLAST 2023」へ出展
ラテン市場最大のプラスチック展示会



PLAST 2023 出展報告

欧州営業部 藤田 美紅

去る9月5日(火)から9月8日(金)の4日間にわたり、イタリア・ミラノにてラテン市場最大のプラスチック展示会「PLAST 2023」が開催されました。

3年に一度開催される本展示会は、COVID-19の影響を受け5年ぶりの開催となり、総来場者数は38,000人と活気ある展示会となりました。

展示会はデジタル化と持続可能性を主要なテーマとし、弊社ではヨーロッパ総代理店であるTOYO europe社と共同で、「BE A GREEN LEADER」というコンセプトにふさわしい緑と白の明るいブースにてSi-280-6S、Si-450-6S、Si-850-6Sの3台を出展しました。Si-280-6SではCampetella社(イタリア)の周辺機にて高速IML成形で容器のフタを、Si-450-6Sは金型機能を駆使し、取っ手も金型内

で取り付けるバケツを成形。またヨーロッパ市場で需要の高い大型機にあたるSi-850-6Sではクレート成形を実演、さらにその3台をT-Remote Webにて一元管理するなど、初日から最終日まで多くの来場者に実演を見ていただきました。会期中には展示している機械の受注が決まるなど、ユーロ圏の経済停滞の中でもTOYOブランドを惜しみなくアピールできたと考えております。

昨今、ヨーロッパではプラスチックに対する規制が厳しくなっています。TOYO europe社と長年培ってきた経験にて、今後も引き続き「Customers' Value Up」を追求し、持続可能な社会と成形を通じて豊かな未来の実現に向け、さらなるお客さまのサポートに努めてまいります。

Reborn. Greatest TOYO

TOYO

IPF JAPAN 2023

11月28日(火)から12月2日(土)の5日間、幕張メッセにて開催されました。通常であれば3年毎に開催されるのですが、新型コロナウイルスの影響で実展示としては6年ぶりの開催となりました。

今回、TOYOブースでは新シリーズとなる「Si-7シリーズ」を市場投入するにあたり、「最高のTOYO、最高の機械の再来」という意味を込めて「Reborn, Greatest TOYO」をコンセプトに4台を展示しました。また、Si-50-7をユーシンブースへ、ET-40IIVR2をITOS社ブースへ、さらにSi-50-6sを松井製作所ブースへ貸出機の出展が叶いました。トータル出展台数7台(内:Si-7×5台)とすることで、より多くの方にTOYO射出成形機をご覧いただくことができました。

TOYOブース内の出展機は、新作金型を用いた実成形をおこない大変好評でした。また、来場者への能動的なアピールを狙ったMCによるブース内ツアーで、技術員による出展機の説明をおこないました。展示会後半では、来場者に合わせたグローバル対応として中国語による説明も実施し、多くの来場者に参加していただくことができました。

来場者も出展者も実際に会って、直接の交流ができる展示会の素晴らしさを改めて実感できた「IPF JAPAN 2023」となりました。

営業技術部 山川 裕之



拠点紹介

中部支店

4つの拠点から、モノづくりに
寄与する企業であり続けます。



中部営業部 部長 兼
中部支店 支店長
牧 卓矢

中部営業部は、中部支店(名古屋市)、三河営業所(安城市)、岐阜営業所(岐阜市)、浜松営業所(浜松市)の4つの拠点から、東海地区を広く担当させていただいております。この地区は自動車を中心としたモノづくりの拠点多く、「カイゼン」によりもっと良いものを創るという文化が根付いております。私共も、次に導入する機械は前よりも良いものに!さらに良いサービスを提供する!という意識を持ち、「Customers' Value Up」を実践してまいりますので、末永くお付き合いをいただければと存じます。引き続き皆さまのモノづくりに寄与する企業であり続けるよう努力していく所存です。



[中部支店] 〒465-0051 愛知県名古屋市名東区社が丘1丁目1202 TEL.052-704-4500 FAX.052-704-3980

スタッフより



営業部 2017年入社
木村 怜

私は入社から2年間東京支店に在籍しておりましたが、2019年4月より中部支店に赴任後はや5年が経過し、仕事・プライベート共に充実した生活を送っています。

東海地区は自動車産業が盛んな事もあり、高速道路等自動車の交通網は充実しており、中でも日本でたった3本しかない100m道路を営業車で走行した際は圧巻でした。

最近では、名古屋市のお隣にある長久手市にオープンしたジブリパークの話題が豊富で、私も一度足を運びたいと考えています。



営業スタッフの可愛いおし!

私のイチオシは名古屋市熱田区に鎮座する熱田神宮です。古くから崇敬を集める名社で、創建は景行天皇43年になります。静かな参道を拝殿目指して歩くだけで身が清められるような清浄な空気に満たされており、私も年始の厄除けには毎年訪れています。三種の神器である草薙の剣が祀られ、その他にも刀剣類・古神宝類等常設の宝物館で保管されており伊勢神宮に続く国家鎮護の神宮とされています。

また、独自の食文化を持つ名古屋には、ひつまぶし・味噌煮込みうどん・天むす等全国的にも有名なご当地グルメが多々あります。名古屋に来られた際はぜひご当地グルメを是非ご堪能下さい。



熱田神宮

新機種紹介

多用途多目的成形を一台の成形機で

多用途多目的射出成形機

Si-7 Versatile Molding Machine **new release**
series

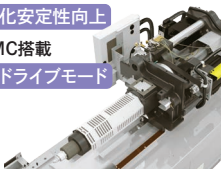


Siシリーズの特徴を継承しながら、最新のIoTや
制御技術を搭載し、多機能性を追求した
TOYO高機能モデル

Equipped with New Injection Unit

成形安定性向上
(新可塑化システム搭載)

- S-HIN SCREW搭載
可塑化安定性向上
- S-TMC搭載
成形ドライブモード



Build it strong and flexible

基本性能向上
(型締機構性能UP)

- デーライト拡大
金型の大型化に対応
- リニアガイド採用
型締精度UP
- 型締力最適化
常時モニタリングシステム採用



High functionality, visually, easily, and quickly

操作性向上

- 新制御システム
SYSTEM800 SE搭載



Actions for the future

SDGs

- S-URE搭載 Option
10%省エネ実現 ※1
- IoT
つながる!見える生産現場
- 環境対応
プラスタージェリス採用で給脂量90%削減 ※2

※1 当社比 (型締装置のみ)
※2 当社比



兵庫県内の情報を発信する“グルメ色”、
今回は明石市にある
永楽堂さんをご紹介します。



今回、ご紹介するお店は『あかしたこせん』の老舗である永楽堂です。このお店では、明石で有名な「たこ」や「鯛」にちなんだ商品作りや、実際に明石海峡で獲れた海産物を使用したお菓子など、明石発のお菓子販売に力を入れています。「たこせん」と一口に言っても、数多くの種類がありますが、永楽堂の『明石永楽のたこせん』は、蛸の風味にこだわった非常に手間のかかった商品です。

私たち、TOYOも明石に来られたからには、ぜひ食べてもらいたいという思いで、明石本社工場にお越しいただいたお客さまへのお土産として、この『あかしたこせん』をお渡ししています。そんな特別な美味しさを味わってみて下さい！



Owner & Chef
COMMENT



永楽堂の歴史は古く、創業は明治30年後期頃。全自動機械で作られているおせんべいが多い中、全国でも珍しい伝統の手作り・手焼きの技術にこだわり続けています。

季節によって変わる湿度に合わせて、生地の微妙な違いを感じとり、配合を調整し、加減を見極めながら一枚一枚焼いていく。厳選した素材を使い、それぞれのおせんべいに合わせた、重要な工程を経て作られる手焼きせんべいは、一つ一つが職人の作品であり、だからこそ、永楽堂は、職人の思いのこもった、誰にも真似できない手作りおせんべいの味にこだわり続けています。

お客さまに「もう一度永楽堂のお菓子が食べたい」と、そんなふうに思っていただけなら、こんな嬉しいことはありません！



昨年は「TOYO PRESS」をお読みいただき、誠にありがとうございます。

今年も皆さまのお役に立つ、そして楽しんでいただける情報をお届けいたします。

今回は弊社社長 田畑から新年のご挨拶、2023年展示会のレポート、新製品の紹介を掲載しております。また、当社はYou Tubeチャンネルがございます。

会社紹介や製品紹介の動画を公開しておりますので、右の2次元コードよりぜひご覧ください。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。



TOYO 東洋機械金属株式会社
TOYO MACHINERY & METAL CO., LTD.

本社・工場：〒674-0091 兵庫県明石市二見町福里523-1
TEL.078-942-2345(代表) FAX.078-943-7275

東京支店：〒104-0031 東京都中央区京橋2-7-14 ビュレックス京橋601号
TEL.03-5159-3787 FAX.03-3567-5123

関西支店：〒577-0012 大阪府東大阪市長田東5丁目1-28
TEL.06-6746-2434 FAX.06-6746-2864

中部支店：〒465-0051 愛知県名古屋市長東区社が丘1丁目1202
TEL.052-704-4500 FAX.052-704-3980

埼玉支店：〒332-0034 埼玉県川口市並木4丁目5-16
TEL.048-258-6601 FAX.048-258-6609

西日本支店：〒674-0074 兵庫県明石市魚住町清水2241 山榮ビル4F
TEL.078-943-0304 FAX.078-943-0301

本社海外部：〒674-0091 兵庫県明石市二見町福里523-1
TEL.078-943-7474 FAX.078-943-0301

仙台営業所：TEL.022-388-8414 FAX.022-388-8415

水戸営業所：TEL.029-272-3520 FAX.029-272-9214

北関東営業所：TEL.0284-91-0321 FAX.0284-91-2809

関東営業所：TEL.045-951-8000 FAX.045-951-8400

三島営業所：TEL.055-977-0351 FAX.055-977-0353

浜松営業所：TEL.053-424-6966 FAX.053-424-6967

岐阜営業所：TEL.058-274-2073 FAX.058-274-0626

三河営業所：TEL.0566-73-7311 FAX.0566-73-7312

北陸営業所：TEL.076-252-5370 FAX.076-252-9778

奈良営業所：TEL.0745-53-4825 FAX.0745-52-7279

九州営業所：TEL.0942-36-5070 FAX.0942-36-5071

会社情報はこちら



拠点情報はこちら

